

令和6年度

黒石市に対する要望事項への回答

黒石市

令和6年度黒石市に対する要望事項一覧

【 黒石商工会議所 ⇒ 黒石市 】

最重点要望事項		担 当 課
1	黒石市制度融資保証料の増額について（継続・一部変更）	商工課

重点要望事項		担 当 課
◆商工業振興		
1	黒石市の経済対策について（新規）	商工課 財産管理室
2	提案・参加型の補助金事業の創設について（新規）	商工課 企画課
◆都市環境		
3	黒石市人口減少対策検討委員会の創設について（新規）	企画課
4	主要地方道大鰐浪岡線の交通渋滞解消と黒石環状線の整備促進について（継続）	土木課 都市建築課 商工課

様式 1

最重点要望事項 1 黒石市制度融資保証料の増額について（継続・一部変更）

担当課・機関名 商工課

要望事項の内容

黒石市制度融資は当該保証料を一定額、市が負担し中小企業者の資金繰りや経費負担の軽減に寄与しております。
 小口資金特別保証制度、事業活性化資金特別保証制度の保証料補給は例年上半期で予算に達し今年度も8月末で既に予算に達しています。下半期には制度を利用したくても保証料補給を受けられずに借入を行う中小企業者が見受けられます。
 制度自体の融資枠が予算に達していない場合でも、市が負担する保証料給付については例年比較的早く予算に達しているため、制度を利用する中小企業者が保証料給付を受けられるよう融資枠相当額の保証料給付を要望します。

要望事項に対する回答

市では、「黒石市小口資金特別保証制度」及び「黒石市事業活性化資金特別保証制度」の2つの融資制度を実施していますが、両制度の貸付要件等に大きな違いがないこと、また年間を通じた信用保証料補給を行えるようにするため両制度を統合し、令和6年度から、新たな「黒石市小口資金特別保証制度」に移行することとしております。
 これにより、信用保証料の予算枠が増え、より多くの中小企業者の方に本制度をご活用いただけるものと考えております。
 なお、新制度の融資限度額を超える融資に対しては、青森県融資制度の「事業活動応援資金（事業活動枠）」と新たに連携することで、制度利用者の負担軽減を図ってまいります。
 また、「青森新時代」への架け橋資金特別保証制度についても、これまでの「選ばれる青森」への挑戦資金特別保証制度と同様に引き続き連携することとしております。
 今後も、より多くの中小企業者の方が信用保証料給付を受けられるよう、金融機関等と協議しながら、本制度の有効な活用方法を検討してまいります。

様式 1

要望事項 1 黒石市の経済対策について（新規）

担当課・機関名

①商工課
②総務課財産管理室

要望事項の内容

① 原油価格や物価高騰の影響を受けている市内事業者及び市民の負担を軽減していただくため、「くろいしまっコカタログ事業」のような経済対策の継続を要望いたします。また、事業が効率よく効果を発揮できるように、市内事業者及び市民からの意見をとりいれたいいただくよう要望いたします。

例1：市内事業者⇒黒石商店街協同組合との意見交換

例2：市民⇒「意見・アイデア等の募集」市民から事業に対する意見・アイデア等について、手紙・はがき・FAX・Eメールなどで随時受けられる手法。特定のテーマについて、広報誌やホームページ等を通じて意見やアイデアを募集する場合や、庁舎内に目安箱のようなものを設置するような手法を含む。

※神奈川県川崎市「主な市民参加手法一覧」（自治基本条例第28条関係）参照

② 黒石市の入札制度においては、予算内で市内事業者を中心に継続して実施されているものと認識しております。「新型コロナウイルス感染症」による行動制限も解除になり、景気も回復傾向の兆しが見えてきていますが、未だ厳しい経営環境にある市内事業者が多く見受けられます。

今後の地域活性維持のためにも、可能な限り市内事業者を優先する制度の実施を要望します。

要望事項に対する回答

市の経済対策事業はこれまでも、黒石商工会議所様のご協力をいただきながら実施しておりますが、令和5年度に実施した「黒石市事業者物価等高騰対策事業」は、令和4年度に黒石商工会議所様から市へ要望のあった内容を踏まえて実施した事業であります。

ご提案にあるように、様々な意見を聞くことは大変重要なことですので、今後とも客観的なご意見をいただき、また社会経済情勢を鑑みながら、市の施策を進めてまいります。

また、当市の入札制度においては、可能な限り市内事業者を優先することとしています。

要望事項 2 提案・参加型の補助金事業の創設について（新規）

担当課・機関名

- ①商工課
- ②企画課

要望事項の内容

新型コロナウイルス、原油・物価高騰、円安の影響で事業者の経営環境が悪化し、黒石市からも何度も支援をいただいていたところですが、今後は新たな攻めの方策を事業者が自ら考えていく必要があります。
つきましては、事業者や市民が自ら考え提案したものに關して。黒石市が補助をしていただく制度を創設していただきますよう要望します。

① 市内中小企業者の新商品、新役務の開発等の新事業活動に対する補助事業について
※黒石市販売力強化補助対象の拡充
新商品開発費だけでなく新サービス開発費も補助対象にさせていただきたい。
※青森県の経営革新計画の認定を受けた事業への補助の実施
県、市、支援機関が連携することで、新事業に取り組む事業所の存在が確認でき、新事業の計画や実施に關し複数の期間でバックアップするため事業効果が高まる。

② 地域の課題解決や活性化に資する活動に対する事業について
黒石市民が身近な地域の課題を解決するために行う事業を公募、審査し補助をお願いしたい。弘前市では「市民参加型1%システム」という事業があり、約12年間で約600件以上の申請実績となっている。多くの市民が関わり課題解決につながっている。まちづくり、福祉、教育、文化、健康づくり、地域コミュニティ、防災、通学路の除雪等課題解決について、市民が自ら考えて解決に繋がる仕組みを創設していただきたい。

要望事項に対する回答

①について
黒石市産品販売力強化補助金につきましては、「黒石市産品」の販売力を強化するために実施する「新商品開発事業」、「見本市等出展事業」、「物産展等出店事業」の3事業を補助対象としております。ご提案の「新サービス開発費」を本補助金の対象経費として、新たに組み入れることが可能かどうかを検討するため、まずは具体的な事業計画についてお伺いしたいと思います。

また、本補助金のうち「新商品開発事業」については、青森県又は認定経営革新等支援機関或いは市へ事前相談していることを条件としておりますので、青森県経営革新計画の認定を受けている事業について、本補助金の活用が可能かどうか、事前に市にご相談いただきたいと思います。

②について
市では、市民の地区協議会が住みよいまちづくりを目的として自主的に取り組む活動を支援するため、「黒石市地域のくらしを守る市民活動支援事業補助金」を創設し、地区協議会が取り組む環境美化事業、生活環境整備事業、会館整備事業、防災機能整備事業等に対し補助金を交付しております。

また、地域住民が主体となって高齢者を対象に実施する介護予防や住民同士の送迎支援、買物支援、除排雪支援等に対して、「黒石市地域ささえ合い活動支援事業補助金」を創設し、支え合い活動を支援、推進しております。

上記のとおり、地区協議会や高齢者を対象とした支援制度はございますが、このほかまちづくり、福祉、教育、文化、健康づくり、地域コミュニティ、防災、通学路の除雪等地域の課題を解決するため支援を必要とする団体について情報を市へお知らせいただいたうえで、検討していきたいと思ひます。

様式 1

要望事項 3 黒石市人口減少対策検討委員会の創設について（新規）

担当課・機関名 企画課

要望事項の内容

当市の総人口は、昭和55年の40,755人をピークに減少へ転じ、令和5年10月末時点の人口は31,115人となっています。平成27年には「まち・ひと・しごと・創生推進計画」の中で、黒石市人口ビジョンが策定され、令和2年4月1日から令和7年3月31日までの事業実施期間となっている地域再生計画にも人口減少対策である4つの政策が掲げられています。

しかし、毎年約500人の人口が減少している状況に変化は見受けられません。このままだと2年後には30,000人を割る人口となってしまう、地域経済にとっても大きな影響を及ぼす問題となります。

つきましては、事業者や子育て世帯である市民・福祉関係者などから幅広く意見を集約し、実行力のある政策に反映できる検討委員会を設置していただくよう要望します。

要望事項に対する回答

市では、人口減少の克服に向けて、まち・ひと・しごと創生法に基づき、令和2年3月に「第2期黒石市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しています。その中で、人口の社会減対策として「しごと」と「新たな人の流れ」の創生、自然減対策として「若い世代希望」と「安全・安心な暮らし」の実現を目指し取り組んでいるところです。

市が策定した総合戦略は、第6次黒石市総合計画の人口減少対策に係る数値目標や具体的な施策の展開方向を示した「実施計画」と位置付けており、現在、黒石市総合計画審議会において、総合戦略の進行管理と次期総合計画策定に向けて調査・審議しております。

黒石市総合計画審議会の委員には、黒石商工会議所から御推薦を受けた専務理事を始め、地区協議会連絡会や黒石市連合PTA、黒石市社会福祉協議会など、各分野から御推薦いただいた有識者13人で組織しています。

従いまして、黒石市総合計画審議会は、人口減少対策に係る政策についても意見集約し、議論していくこととしておりますので、要望事項の検討委員会としての機能を十分備えているものと捉えております。

様式 1

要望事項 4 大鰐浪岡線の交通渋滞解消と黒石環状線の整備促進について（継続）

担当課・機関名 土木課・都市建築課・商工課

要望事項の内容

大鰐浪岡線は、大鰐町を起点とし、平川市・黒石市を經由し青森市と結ぶ重要路線である。近年、沿道の商業集積や通過交通の流入などによる交通量増加に伴い、慢性的に交通渋滞となっている。
この交通渋滞を解決するため、更なる拡幅工事と本路線東側バイパス路線を含む黒石環状線（都市計画3・4・7 巾16m 延長7,170m）の整備促進を図ることを引き続き要望します。

要望事項に対する回答

主要地方道大鰐浪岡線の交通渋滞緩和対策としては、山形町等の交差点に右折レーンを設置したこと、寿町の交差点から国道102号との交差点区間では信号機の調整による対応が交通渋滞緩和対策として行われております。更なる拡幅工事につきましては、用地取得に伴い既存の住宅や商店にも大きな影響を与えることが想定されることから予定はありません。
市としては、都市計画道路3・4・7黒石環状線について、平成25年度に柵ノ木三丁目の県道弘前田舎館黒石線から北側角田方面への906メートル区間の事業に着手し、令和4年4月1日には、りんご研究所から黒石中学校へ向かう交差点までの360メートル区間を一部供用開始しており、令和7年度初めの事業全区間供用開始を目指して事業を執行しているところです。
現事業区間の終点である柵ノ木「りんご研究所」付近から南側の国道102号「なごみホール黒石」交差点までの区間、約1,100mの計画道路については、現在、開発が進んでおりますロジスティクス戦略の事業地にも直結し、物流には最適かつ効果的な道路であるとともに、大型車の円滑な交通及び交通渋滞の緩和にも大きな役割を果たすことが期待できるものと考えています。この区間の整備につきましては、浅瀬石川を跨ぐ長大橋をはじめ膨大な事業費が必要となり、技術面及び財政面においても、市が実施するには困難な事業であるため、県事業として整備していただくよう要望しているところです。令和5年度は県と合同で現地視察を行い、令和6年度は事業効果を検証するための基礎データ取得として、交通量調査の実施を予定しております。